広報こしがや

（定価一部 二円）
編集と発行
埼玉県
越谷市役所
電話越谷42,517,519,522番

有権者二万七千百一人確定

一年間に五百七十三人の増加

市選挙管理委員会では、昨年の基本選挙人名簿（九月十五日現在）を調整していましたが、十二月二十日に確定しました。確定した総有権者数は二七、一〇一人（男＝一三、一五〇人、女＝一三、九五一人）でこの数は三十四年九月十五日現在と比較し、一年間に五七三人の増加となっています。

12月定例市議会報告

三日間の慎重審議で

重要議案15件の可決

昨年十二月十四日から十六日にいたる三日間の会期で開かれました十二月定例市議会は、昭和三十五年度一般会計歳入歳出追加更正予算など十五件の重要議案を慎重審議して、いずれも原案可決をみました。さらに最終日に行なわれました一般質問においては、農業委員会問題（白紙県知事許可証について）で活発な質疑応答が繰り返されましたが、議長のはからいで正副議長、各常任委員長協議の上処理することにご一任ねがいたいという提案で落着き夕刻、五時近く閉会いたしました。以下市議会の結果をお知らせいたします。

本会議第一日

12月14日

午前九時五十分開会、議事録署名議員に野口正次、石垣正平、大野義雄、三議員を議長指名で選任したあと、会期決定、諸報告をすませ、任期満了による市選挙管理委員会の委員および補充員の選挙に移りました。これが選任は地区的考慮がはらわれ議長指名通り全会一致次の諸氏が選ばれました。

委員

◎染谷勇快（大房）〇中野健蔵（蒲生）小泉市右衛門（越ケ谷）中村亥之輔（大間野）

補充員

坂巻保太郎（砂原）立沢静吉（千疋）白鳥壮三郎（平方）長野邦作（大松）

ついで市長から提出された議案が逐次上程され、三十四年度一般会計と特別会計の決算認定、それに三十五年度一般会計、特別会計（上水道会計）の三議案を残して原案どおり全議案の可決々定をみました。なお三十四年度の一般、特別両会計の決算認定については特別委員会を構成して継続審議をすることとし、議長指名で特別委員を選任して午後二時二分第一日の本会議を終了しました。それでは第一日目に可決された主な議案の説明をいたしましょう。

東中学校で二階建四教室増築

生徒の急増に伴う不正授業を解消するため一般教室の増築を考えておりましたが、幸い県当局の指示にもとずき国庫負担金が認められることになったので、いそいで増築することになったものです。したがって国からくるお金や借りるお金と市費をあわせて、木造瓦葺二階建四教室 四百二十九平方米（百三十坪）以内を、昭和三十五年の会計年度中に建てることになりました。

中央中でも増築 六月末完成目標

中央中においても生徒が急増するので、三十六年度における不正授業をはやく解消しようと、予算外義務負担（三十六年の当初予算に計上する義務づけ）をして増築することになったものです。建てようとする校舎は木造瓦葺二階建普通教室（二）と同平屋建特別教室（二）の三九六平方米（一二〇坪）以内で、二月一日着工して六月末には完成させる予定をたてております。この所要見込額は四百五十万円（国からくるお金や借りるお金、それに市費充当）となっています。

旧大沢小校舎取こわし材で 大相模小危険校舎改築

かねてから大相模小校舎は、危険度が高いので早期に解消する計画をたてておったもので、旧大沢小学校校舎取こわし材を使用して木造瓦葺二階建六教室建築にとりかかるわけです。この所要見込額は二百八十万円以内で、昭和三十六年の当初予算に計上する義務づけをし、一月二十日より七月二十日に至る工期をもってこの事業を行なうことになりました。

委員長に染谷氏

選挙管理委員会

選挙管理委員会はさる十二月十五日開から委員長、委員長代理などの互選を行なったところ、委員長に染谷勇快氏が再選され、委員長代理に中野健蔵氏が選ばれました。染谷氏は明治二十八年一月一日の生れで、現在大字大房浄光寺の住職、昭和二十二年の選挙法施行と同時に大袋村選挙管理委員、町村合併後も越谷町の管理委員になり、さる三十四年七月に市選挙管理委員長に就任現在にいたっております。【写真は染谷氏】

市全地域にきれいな水

上水道事業を拡張 3カ年事業

保健衛生の面から市全域に上水道施設要望の声が多いところから、現在の上水道事業、大袋簡易水道事業、それに各簡易水道組合越谷松伏水道組合の広域簡易水道事業等の区域を除いて、まだ上水道事業を行なわない地域に対して給水しようと、次の基本計画をたてました。しかしそれが拡張事業を行なうには現在の上水道事業を変更する議決をして厚生省に認可申請の手続きをしなければならないので、ここに提案して議決を得たわけです。

一、基本計画

①給水区域（イ）拡張区域（変更により新たに給水区域となる区域）麦塚、伊原、上谷、蒲生、登戸、大間野、七左エ門、越巻、谷中、神明下、長島、西新井、北越谷、南荻島、彌十郎、大房、大林、大里下間久里、船渡、上間久里、（ロ）既設分（現在給水している区域）越ケ谷、大沢、瓦曽根、四十野の一部

②給水人口（イ）拡張分（計画総人口の七〇％）九三〇〇人（ロ）既設分、一七〇〇〇人、合計二六三〇〇人（変更後の給水人口）

③給水量（イ）拡張給水能力一八〇〇立方米（一日最大）（ロ）既設給水能力（一日最大）二七〇〇立方米合計四五〇〇立方米（変更後の給水量）二、事業費、総額一億二千四百万円三、工期、昭和三十六年度より同三十八年度にいたる三カ年

上水道の区域変更 三カ年事業の支出方法

上水道の区域が変ったので、その拡張分に対する一億二千四百万円の事業費を、三カ年の継続年期中どのように支出するがその支出方法を定めました。以上申しあげました上水道事業変更と、それに伴う継続年期および支出方法の議決は、認可申請の重要な必要添付書類となっております。

小泉市右エ門氏 固定資産評価審査委員に再選される

市固定資産評価審査委員である小泉市右エ門氏の任期満了により、市長から引続き後任委員として再選方議会の同意を求めましたところ市長の選任どおり同意することに決まりました。以上可決された主な議案の説明を概略申し上げましたが、第二日の十五日は休会となり、第一日の本会議において構成された特別委員会が開かれ、この委員会に付託された昭和三十四年度市一般会計および特別会計の決算認定についての議案が審査されました。

34年度決算概要

◎一般会計

収入…二億九百七十万円

これの内訳

1 市税、一億二百九十四万円
2 地方交付税、四千七百九十万円
3 使用料手数料、三百五十万円
4 国庫支出金、二千二百七十万円
5 県支出金、六百四十一万円
6 繰越金、五百八十三万円
7 雑収入、六百二十七万円
8 市債一千三百万円
9 その他百十五万円

支出…一億九千八百九十九万円

これの内訳

❶議会費、三百四十二万円❷市役所費、四千三十四万円❸消防費、一千六十七万円❹土木費、二千百万円❺教育費、五千八百九十五万円❺社会労働費、一千七百五十八万円❼保健衛生費、七百四万円❽産業経済費、一千五百九十万円❾公債費、四百四十八万円❿諸支出金、一千六百七十三万円⓫その他二百八十八万円

差引残金、一千七十一万円の黒字（翌年度へ繰越）

△特別会計 総計三百七十四万円の黒字

①上水道会計、収入…三千八百七十万円、支出…三千七百二十六万円、差引残高…百四十四万円（翌年度へ繰越）

②大袋簡易水道会計、収入…二千四百三十六万円、支出…二千四百十九万円、差引残高…十七万円（翌年度へ繰越）

③公益質屋会計、収入…三百七十四万円、支出…二百七十九万円、差引残高…九十五万円（翌年度へ繰越）

④国民健康保険事業会計、収入…三千三百九十八万円、支出…三千三百二十二万円、差引残高…七十六万円（翌年度へ繰越）

⑤国民健康保険施設会計、収入…七百五十万円、支出…七百八万円、差引残高四十二万円（翌年度へ繰越）

以上概要をしるしましたが、一般会計、特別会計とも市民皆さんのご理解あるご協力によって、幸い赤字をださずに、黒字をもって翌年度へ繰越すことができました。

本会議第二日

12月16日

十時五分開会、本会議第一日目に特別委員会へ付託しました昭和三十四年度一般会計及び特別会計の決算認定の審査結果が、木下委員長から報告され、全会一致をもって委員長報告どおり可決しました。可決された決算は別掲のとおりです。

ついで昭和三十五年度一般会計一千八百万円の追加更正予算と、特別会計である上水道事業費追加更正予算が逐次上程され、市長と議員の間で活発な質疑応答がくりかえされて可決したあと、追加議案として上程された北中学校校舎追加建築についても可決しました。以上をもって十五件の議案審議は午前中で全部終了し、午後からは日程にしたがって一般質問が行われ、通告順に議長から発言を許されて、約三時間半におよぶ論戦があり、農業委員会の白紙許可書の問題については正副議長、各常任委員長協議の上処理するということろまでに至り、最後まで熱心な審議を重ねて四時五十分幕を閉じました。以下本会議第二日目のもようをお知らせいたします。

一般会計追加は一千八百万円

広域簡易水道組合への分担金 東中学校四教室増築費などが主

一般会計

今回の追加は五回目

追加された一千八百万円の才入、才出を概略申し上げますと才入において、市税の普通税（市民税、固定資産税）現年度、過年度あわせて調定増による三百五十八万円、地方交付税で百五十十万円それに国や県からもらうお金（東中増築国庫負担金、昨年行なわれた衆参、最高裁の選挙国庫委託金市町村育成県交付金が主）四百三万円、あとは、東中、中央中、南中の三校増築のため市が借りる市債八百万円などが主なものです。才出では、土木費八十二万円（道路や橋をよくするための費用）教育費の営繕費五百十八万円（東中増築費が主）社会労働施設費百九十一万円（市立体育館建築費追加が主）それに才入をみた選挙費百十四万円、あとは諸出金七百七十四万円（越谷、松伏水道組合分担金などの負担金が主）などが今回の追加の主なものです。これで当初予算からの累計は二億六千九百九十七万七千四百六十二円という大きな財政力となりました。

特別会計

上水道会計二回目の追加

今回追加された特別会計は上水道会計二回目の追加で、金額は才出入とも三十五万円で、これは一般会計から繰入れた三十五万円を、そのまま才出の建設費に計画変更による設計委託料として追加したものです。したがって当初予算からの合計は三千五百五万三百六十円となりました。

北中学校の四教室追加建築決る

この件は取急ぎ追加議案としたもので、国において中学校整備のため補正予算が若干計上されたことにより、県と話し合いの処、急に北中の四教室分国庫負担金認可の内示があったために提案されたわけです。建てられる規模は鉄筋コンクリート造四教室約三六九平方米（一一〇坪）で昭和三十五年度中に、いま建築中の校舎に接続して実施される計画です。したがってこの費用は六百万円位かかる予定（国から約二百四十万円を見込みあとは起債三百万円、市費の予備費充当で六十万円）であるので予算措置は手続上の関係で市長の専決処分として次の議会に報告することに議会の諒承をねがいました。また契約も随意契約で行うかもしれない点を議会に申しあげ諒承を願いました。

農業委員会の問題に集中

県知事無記入許可書問題もでる

一般質問中から

本会議第二日目午後一時十分から行なわれた一般質問は、株竹議員の「都市計画による道路計画」山崎議員の「バイパス道路、農地転用、市道水路上専用地等問題」藤井議員の「福祉事務所事務室問題」土地改良事業に対する補助増額要望」島村議員の「総合グランド問題」藤閒議員の「青年団問題」浅子（進）議員の「支所廃止問題」松永議員の「赤痢対策問題」榎本議員の「市金庫設置、工場誘致に伴う農業委員会の改革等問題」佐々木議員の「農業委員会問題」武藤議員の「身障者負担金の問題」平野議員の「市街地へ共同便所設置、外灯の設置、砂利増配等の要望」植竹議員の「工場誘致による農業対策、農業委員会職員の明朗化等の問題」等々で、それぞれ活発な質疑応答が市長、教育長、農業委員会長との間で行なわれました。この中で特に農業委員会の問題に論議が集中され、最後の植竹議員の質問中、農委会職員云々の点から県知事名の白紙許可書が、一職員の手により植竹議員に手渡されていることがわかり問題となりましたが、この件は正副議長、各常任委員長協議の上処理することに一任されました。それでは、問題になった白紙許可書はどのようになったか、その後の経過については農業委員会報告をまって、市長の諮問機関である広報専門委員会はかり掲載の有無について考えることにいたします。

（注）この問題については、議会において正副議長各常任委員長会議をもち、農業委員会からその後の調査報告を聴き、近く全議員に報告する一方、農業委員会においても、農地部会、総会を開いて道義的な面から明朗化のため善処いたしております。

当選者決る

葛西・元荒川・綾瀬・新方 四カ村の各土地改良区

去る十二月二十日行なわれた葛西用水路、元荒川各土地改良区の総代選挙、また同月二十六日行なわれた綾瀬川、新方領、蒲生外四地区の各土地改良区の総代選挙において越谷市関係の当選者は次の通りです。

葛西用水路土地改良区

▽桜井、中村定三郎▽新方、中村六右衛門、萩原篤太郎、八木橋仁兵衛▽増林、石川三津蔵、須賀富悦、林専次郎、須賀定吉▽大沢、岡井良平▽蒲生、浅見英蔵、株竹誠一郎、金子佐五八、浜野彌之函▽大相模、川柳、深井彌三郎、池ノ谷竹太郎、中村喜四郎、中村平吉、石垣裕次郎、藤波照成、吉田敏夫

元荒川土地改良区

▽増林、中島要次、島根貞之助、井上竹松▽大相模、石塚喜久造、谷塚俊雄、石垣正平▽桜井、松崎武雄、吉岡豊、森田三之助▽大沢今井正吉▽越ケ谷、浜野入蔵▽荻島、高野高三郎、新井省三、大熊彌兵衛、根岸万五郎、坂巻徳太郎鈴木吉右衛門▽大袋、中島政、瀬尾哲太郎、山崎利雄、栗原重治、村田貞治▽出羽、野口犀之、鈴木清太郎、島村孝太郎、鈴木徳重、野口八郎左衛門、井出門平、響谷彌兵衛

新方領悪水路土地改良区

▽新方、野沢喜七、川上順一、金子春吉、浅子正一郎、染谷金蔵、平野松蔵▽大袋、新坂正喜、坂巻惣助、鈴木紋右衛門、臼倉幹雄、浜野新太郎、高梨栄重、岩瀬重雄黒田初太郎、大武治▽荻島、竹ノ内垣蔵▽桜井、長野寿光、松崎福太郎吉岡信義、森田宗平、森泉清左衛門、小早川梅治、森助太郎、中山伝吉▽増林、島田晴雄▽大沢、中村修輔、岡井栄吉（二面へつづく）

成人者の叫び

一月十五日の成人の日に、当市では八百六十一名の青年が晴れて成人となられます。当日は成人式を挙行して満二十才に達した人を祝福し、同時に社会の一員としての、また日本国民としての誇りと責任を自覚してもらうよう励げまします。満二十才に達すれば新しく選挙権が与えられ、各種の選挙に加わって、民主々義国家の一員としての権利と義務をもつことになります。この意義ある成人の日にあたり、成人者はいかなる抱負をもってのぞんだか「二十才への叫び」を、青年団役員のお骨折りで成人者の中から代表者を選んで書いていただきました。

越ケ谷 佐々木光子

私も威張って二十才といえるようになった。だが成人したという解放感より先に、法律上からも実際にも一国民としてのあらゆる義務と責任を感じ、私達の回りで起きている日常のどんな小さな事件もすべて他人事ではなく、結局は自分自身の事なのだと改めて考えた。私達の回りで常に何かが動き、時が進歩している。その時の流れの中に私も足を踏み入れ、決して清流ではないその流れの中で、さまざまの汚物を取り除き巾広い澄んだ豊かな流れに変えて行きたい。現実はどんなにささやかでも、せめて抱負だけでも大きく持って、私達の理想に一歩でも近づこうと努力して、お互いに一つの感動を共にして生きるのは何てすばらしいだろう。

四丁野 塚田洲慶

私達は父母に愛育され、学校においては良師に御教導を受け、先輩、友人達に助けられ教えられて、二十年の星霜を経てきました。さらに現在新憲法により自由権、請求権、参政権が保証され成人としての自覚を持つ人生の一大転換期に直面しています。もちろん私達は成人としてのレッテルを貼られる以前から夢や希望を抱いています。すでにその夢や希望を達して実質的に成人した人、成功者となった者もあろう。またその実現に十年、二十年、さらには一生かかる人もいることでしょう。しかし私はまだその途上にあって成人のレッテルを貼られたのです。すなわち年令と身体に貼られたような気持です。そして社会人としておとなの社会へ送られるのです。未だ学成らず、技熟せず、そして人に報いず、したがって自己の実質拡充をはかり、そして夢の実現へと真の人生の第一歩を踏み出すべき時だと信じます。

船渡 篠田嘉子

明けましておめでとうございます。誰も彼もがほほえましい、いかにも楽しそうな新年に、大人への仲間入りをした私は果して同じ先輩の人のように行動しているだろうか、うらやましいと思うことがたびたび浮かびます。でもことしはようやく親をはじめ社会の人から喜こばれ安心されるような二十才となる朗らかなお正月を迎えました。お休み期間に学校友達数人にお会いしましたが、みんな成人となられる一月十五日をうれしそうな表情で待っておられます。私は初めて選挙権というものを手にし、成人となった自覚と喜び、そして感謝の涙が目に浮かびました。『はたち』になったのだと思うと、この二十年間に水を流したように過ぎてしまいましたが、いまここに成人となったうれしさはかくしきれず、また責任の大きいことも自覚いたします。

砂原 坂巻貞一郎

一九六一年の新春を迎え、われわれ若人が社会人として一歩をふみだすことになりほんとうに喜びにたえません。今だ小人の気持ちのぬけきれぬわれわれは今迄の行動がいかに軽率であったか、今ここに新しい人生と共に、反省しまた責任がいかに大事であるか、深く感じさせられます。「大は小をかねる」と申します、われわれが成人となって選挙権を得、その一人一人の清き一票が越谷市のためにまたその国のために役立つ貴重なものである責任を受けたことは、うれしいようなはずかしいような気が致します。しかし現代文化の発展と共に皆様のよき御支援のもとで一歩の後れもとらないのもむしろ一歩前進する心持で、一歩一歩責任をもってしっかりとふみしめ、前進に前進を重ねて明るい社会人になりたいと思います。

上間久里 矢島紀子

私達は今日ここに成人式を迎えました。一口に成年に達したと申しますがそれは私達にとっては何かうれしいようなまた一抹の不安とが入り交ったような気持ちが致します。今まですごしてまいりました日々の生活これから先始まる大人としての生活今までそれ程私達自身身近かには感じられなかった成人式に今現実に直面してみますとその相違がはっきりと見出されるような気がしてまいります。もうこれからは立派な社会の一員として大人の仲間入りをしたわけです。それとともに私達自身も各々社会的な義務と責任とを強く自覚してこれから進むべき私達ちのこの社会をより一そう住みよい立派な社会にお互いが協力し築いて行かなければならないと強く深く思います。

大沢 永野友三

幸か不幸か私達は戦争の惨禍を体験し、わが国は世界で唯一の核兵器被爆国として核兵器禁止をさけんできたが、今なお核兵器保有がその国の威信に関わる風潮があり、両陣営対立下では極地的な小競合の緊張した空気が戦争への危険を感じさせる。国内では腐廃した選挙、悪い道路等改むべきことが多い。これまで私達はこれらのことをただ社会現象として傍観を得た現在では政治に働きかけることが可能となった。義務でさえある。ここに私達は責任と誇をもち、自主性を第一とし歩を進めねばならない。国内さらに世界の青年が手を結び自覚するとき戦争のない恒久の平和が訪れると思う。私は成人の日を全国の成人式を迎える人と共に前述のことを確認しあう、また成人にまで養育してくれた両親や社会に感謝する日として迎えたいと思っている。

たくさん集まった 歳末愛の贈物

市社会福祉協議会が中心となって行ないました歳末たすけあい運動は、市民皆さんの深いご理解とご協力により、愛の贈物がたくさん集まりました。この温い贈物をなされました方々に厚くお礼申し上げます。さぞかし温い贈物をいただいた方々は、楽しいお正月を過したことでしょう。輝かしい新春を迎え、みんなで希望と夢を抱きながら進みましょう。ますますご多幸であることを祈念いたします。それでは各地区から寄せられた温い贈物を次にお知らせいたします。

各地区皆さんから集まった贈物

	金額(円)	白米(合)	衣類(点)
桜井	一、三五〇	八三二	
新方	八〇〇	五六三	
増林	三、七四〇	八〇一	一
大袋	四、〇三〇	五七四	
荻島	七、三五〇	三三〇	
出羽	二、九〇〇	六〇八	
蒲生	一七、八七〇	一、一八二	一五四
川柳	二、二一〇	三二六	
大相模	八、〇一五	九二五	
越ケ谷	三〇、三二六	八〇七	一、〇三三
大沢	三三、三五〇	一五〇	
◉ボーイスカウト	一六、六六七	四	
◉東中一年生十二名	三六〇	三五	
◉市議会議員	三、〇〇〇		
その他	一、八〇五	七七	五〇
合計	一三三、九二一	六、三七七	一、一五〇

◉は特別寄付です。

以上のほか、次のような手紙までそえて市福祉事務所に届けられたこともお知らせいたします。

このお金は、私たちのクラスが歯の清掃と治療状態の検査の結果、よい成績を納めたので、学校から表彰された賞金に、クラスのみんなで出しあったお金とをあわせた一千三十六円です。生活に困っている人にあげたいと思い、歳末たすけあい運動にあたり寄付いたします。

北中学校新方分教場 一年B組四十二名

国民健康保険税の納入

被保険者の皆さん、一月は保険税の最終納期になっておりますから未納の方は納期内に納入下さるようお願いいたします。おくれますと延滞金、がかかり御損になりますので必ず今月中に納付してください。

(一面土地改良区の当選者つづき)

綾瀬川土地改良区

▽荻島、田村正男、森田春男、島村仁、内山才之助▽出羽、田村仁三郎、塩野常雄、鈴木勇太郎、中村亥之輔▽越ケ谷、高橋庄治▽蒲生、関根定吉、駒崎板兵衛、吉田要蔵▽大相模、石垣市郎▽川柳、大沢初右衛門

蒲生外四地区土地改良区

▽蒲生、横川市太郎、鈴木吉之助、須賀長太郎、浅見英蔵、金子与吉、山崎勝治、中野四五左衛門、金子喜代三、中野保夫、中野英市、森田由三、植竹勇、斎藤健蔵、植竹省之助、株竹誠一郎、高山勘一、石井長七、清村勇、会田勇吉、中村治雄、神谷寅松、関根定吉、中野源之助、浜野忠蔵、加藤仙吉、浜野重吉、植竹政三助、株竹仙春、中村重作▽川柳、植竹政三助、植竹元吉▽大相模、沢田政次郎、沢田長次郎、鈴木丑太郎、池ノ谷竹太郎、水野丈太郎▽増林、清水好郎▽越ケ谷浜野八蔵、田熊秀吉、鈴木平治郎

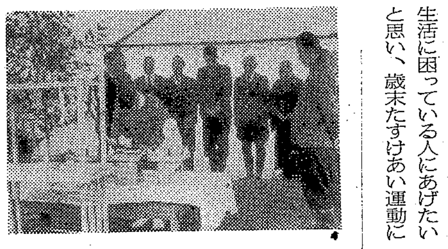
投票は二月五日

末田大用水総代選挙

末田大用水土地改良区総代選挙は来る二月五日行なわれることになりました。

この立候補の届出は一月十六日から一月二十六日まで選挙管理委員会で受け付けることになつております。各選挙区の総代数は次の通りです。

第一選挙区	二四人	旧新和
第二選挙区	二一人	旧荻島
第三選挙区	二四人	旧出羽
第四選挙区	六人	旧越ケ谷
第五選挙区	五人	旧和土



増築工事に着工 大相模小学校

市立大相模小学校◇の増築工事は去る九日現場で起工式が行なわれました。これは旧大沢小学校校舎の取りこわしに併い移築されるもので、規模は普通教室六教室で渡り廊下を含めて約670平方米、工費は320万円でことしの3月末ごろ完成の予定です。

(写真は起工式)

のびゆく家庭の 十二章読本

第一章

ほめることはよい人格づくりの基礎です

人間誰しも、ほめられて悪い気持ちの人はありません。子どもも学校の一生徒、あるいはグループの一員として、また家族の一人として、みとめられたい、ほめられたいという欲求を心の底にいつももっています。それなのに、しかられるばかりでみとめられず、ほめられもせずにいますと、心がいつもモヤモヤして、おちつきのない、人の顔色ばかり気にするかげひなたのある子どもになってしまいます。こういう子どもは、教師や両親の前ではおとなしそうにみせかけていますが、いないところでは、その欲求不満を思う存分に満足させようとして、弱いものいじめ(小・中学生の世界だけでなく青年の世界でもそうである)粗暴性、飲酒、不良仲間の兄貴分にのしあがるための悪の業績をつみかさねる―といった形であらわれてきます。すなおな子どもは、よいほめ方をもつ家庭の中からうまれてきます。

すなおな子どもにはよいほめ方 悪いときはしっかりしかる

どんな子どもでもほめどころはあるものです

こんなことでほめては損をするとか、増長するとかいったケチな考えはすてましょう。いつもわが子のすることを見守っている両親なら、ほめるに値することをさがし出してほめることができましょう。じみにコツコツやっている子どものすることも、見のがさずにほめましょう。

しかるとはどんなことでしょう

子どもが何か失敗するとか、両親のいいつけに服従しないかの場合、感情をたかぶらせてしかることはないでしょうか。しかるとは親の欲求不満のイライラを、子どもに向かって爆発させることではなく、子どもが将来再び間違いをおこさぬよう教えることであり、注意することをいいます。したがって「さとす」といった方がよいかもしれません。

悪いときはしっかりしかりましょう

真にしかられるに値するとき、しからなかったばかりに信頼感を失なう場合も少なくありません。くそ可愛がり、盲目愛はわがままな行為も平気でやるようなルーズな性格の人間を育ててしまいます。

商工無料相談

毎日午前九時から十一時まで

商工業者のよき相談相手となり、また健全な発展のために商工会では次の通り商工無料相談を開始することになりました。商工業の事ならなんでもお気軽にご相談下さい。

日時 毎日午前九時～十一時まで

場所 越谷市役所商工会事務局

相談事項は金融問題(国、県市の融資制度についての相談と手続き、経営問題(売上増進対策、企業診断、店舗改装経理記帳指導、社会保険、火災共済)そのほか商工業に関する問題。

昭和三十六年度用青色申告納税者用の簡易帳簿が来ておりますから、ご希望の方は代金三百七十円をご持参の上お引取り下さい。

ポリオ(小児マヒ)の予防接種

希望者は十八日迄に申し込みを

昨年はポリオ(小児マヒ)日本の記録上最大の発生をみて多くの子供さんが犠牲になり子を持つ親たちは心配させられました。このポリオは、ポリオビールスという小さな病源菌で口から入って伝染し、脊髄をおかして、主として手足をマヒさせる急性灰白髄炎という病気です。

衛生課ではこのポリオ(小児マヒ)の予防接種を一月末ごろ行なう予定でいま該当者の申し込み受け付けをしております。このポリオの申し込みは各地区の衛生協力員さんが直接お伺いすることになっておりますので、該当者は来たる十八日までに忘れずに申し込んで下さい。この予防接種の該当するものは昭和三十四年七月一日から三十五年六月三十日までに生まれたお子さんで、三回接種を行なう予定です。第一回は一月末、第二回は一カ月後、第三回は六カ月後です。料金は一回につき四百円で、うち二百円は市から補助されますから、残り二百円を負担していただくことになっております。

結核の予防接種

衛生課では結核予防法による予防注射(ツベルクリンとBCG)を次の日程で実施することになりました。ツベルクリン反応注射は三十才未満のもの全員が受けて下さい。ただし学校、会社で受けた方は除かれます。BCG注射はツ反応の判定結果、陰性者に行ないます。

(料金は無料)

各会場は午後一時から三時まで

一月 第一回(ツベルクリン)

十六日 出羽診療所、大相模支所
十七日 荻島公民館、新方支所
二十一日 川柳成就院、増林公民館
二十四日 蒲生公民館、桜井支所
二十五日 越ケ谷小学校
二十六日 大袋公民館、大沢小学校

一月 第二回(判定とBCG)

十八日 出羽診療所、大相模支所
十九日 荻島公民館、新方支所
二十三日 川柳成就院、増林公民館
二十六日 蒲生公民館、桜井支所
二十七日 越ケ谷小学校
二十八日 大袋公民館、大沢小学校